

まみ ばな
豆が花
(本調子)

すとうむてい まみ ばな
1. 朝ぬ 豆が花よ サーサ

あきしゃるぬ 露が花よ
イラユスイ イラユスイマーヌ 露が花ヨ

まみ ばない する
2. 豆が花出で揃いよ サーサ

ついで ばな さ する
露が花咲き揃いよ
イラユスイ イラユスイマーヌ 咲き揃いヨ

ばいかじ
3. 南風ぬはやらしばよ サーサ

かく
なく風ぬなゆらしばよ
イラユスイ イラユスイマーヌ なゆらしばヨ

ゆだ まみ
4. 枝なゆりなりゆ豆よ サーサ

さや
またなゆりなりゆ莢よ
イラユスイ イラユスイマーヌ なりゆ莢ヨ

まみ ん ゆ ば
5. なず豆や満てい世栄いよ サーサ

さや ゆ なう
なず莢や世直らしよ
イラユスイ イラユスイマーヌ 世直らしヨ

朝方の豆の花

明け方の露を浴びている豆の花

豆の花が咲きそろう

露を浴びた花が咲きそろう

南風が蔓を大きくさせる

穏やかな風がたわわに実らせる

枝にたわわに実る豆

ますますたわわに実る莢

実った豆で世を豊かにして

実った莢で世を豊かにして

< 解説 >

豆の豊作を歌っているこの内容のほかに、娘を差し出すのを渋る親に役人が上布を織らせるぞと脅しをかける物語形式のもの(詳細クイバラ通信20号)、島尻の上布を誉める土地誉めのものがあります。

< 宮古 >

豆が花

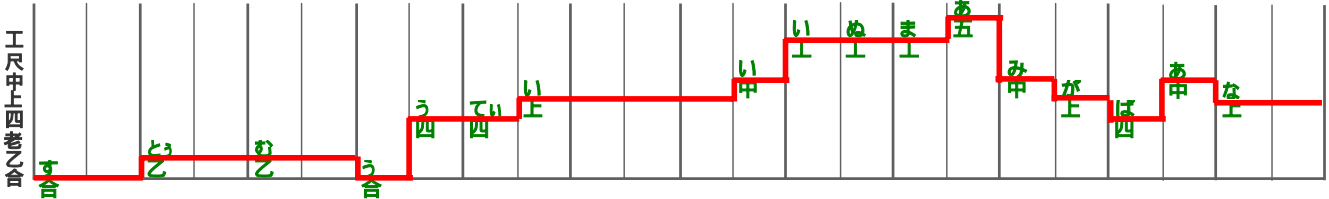
(本調子)

尺 = 尺と尺#の間

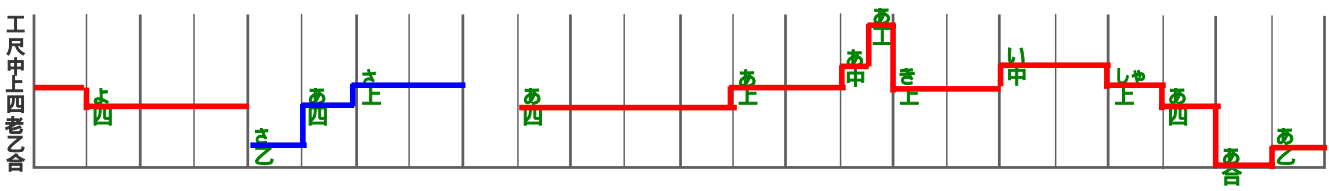
歌: 句合乙四上中工五

工 五 中 上 四 中 上 四 工 合 四

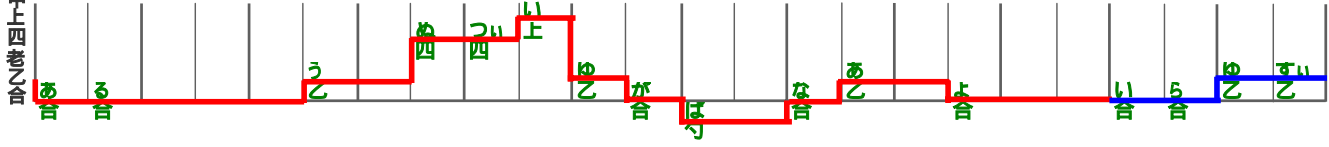
合 乙 乙 合 四 上 合 中 工 工 五 中 上 四 上
 すまはゆな とうみいだす むがかなま うあああ ていばい いあいうい めなぬりや まいはなん あいああん みでやりてい がすらゆ ばるしまば あういああ ないばみい



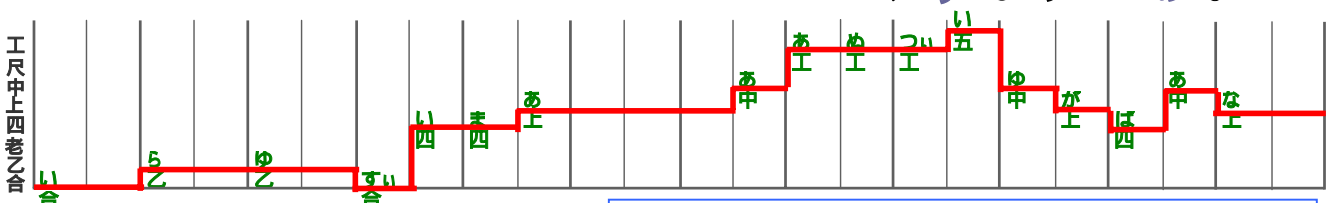
四 乙 四 上 四 合 四 上 上 中 上 合 乙
 さいさ あさ あついなまな あいああ ああきゆ ああきゆ ああきゆ ああきゆ いううあう しゃがかなさ ああああ ああああ ああああ



合 乙 乙 四 乙 合 乙 合 合 乙 尺
 ああああ るふじゆや うあいうあ めなぬりや つさななゆ いかああゆ きゆりな がすらゆう ばるしさら ないばやし あいああい よよよよ いら ゆすい



合 乙 乙 合 四 上 合 中 工 工 中 上 四 上
 いら ゆすい いま あ ああ ぬ つい ああきゆ がすらゆう ばるしさら あういあやし



四 工 合 四



1. 朝め豆が花よサーサ あきしゃるぬ露が花よ
 イラユスイ イラユスイマーヌ 露が花ヨ
2. 豆が花出で揃いよサーサ 露が花咲き揃いよ
 イラユスイ イラユスイマーヌ 咲き揃いヨ
3. 南風ぬはやらしばよサーサ なく風ぬなやらしばよ
 イラユスイ イラユスイマーヌ なやらしばヨ
4. 枝なゆりなりゆ豆よサーサ またなゆりなりゆ莢よ
 イラユスイ イラユスイマーヌ なりゆ莢ヨ
5. なず豆や満てい世栄いよサーサ なず莢や世直らしよ
 イラユスイ イラユスイマーヌ 世直らしヨ